

所属	心理学研究科 現代心理学専攻	修士課程	修了年度	2023 年度
氏名	唐 子杰	指導教員 (主査)	加賀美 常美代	

論文題目	中国人大学生の就業動機に及ぼす関連要因 ——労働価値観と両親の養育態度に着目して——
------	---

本文概要

【問題・目的】 現在、中国では大学生の就業問題が社会に注目され、大きな研究課題になっている。令和4年6月、中国における大学新卒者の就業率は38.8%であり（中華人民共和国教育部，2022），一方、日本における大卒者の就業率は95.8%であり（厚生労働省，2022），日本人大学生と比べて、中国人大学生の就職問題が深刻化しているといえる。中国人大学生の就職難問題をもたらした要因に関して、大学生の就業動機が多く研究されている（井上，2016；王，2018；高，2014）。安達（1998）は、就業動機を未入職者が未来の仕事状況に関連して持っている動機、または、将来携わる職業的場面を想定した動機と定義した。瞿・于・蔡（2004）の研究によると、中国人大学生が職場を選ぶ上位3つのポイントは昇進機会、給料と職場環境と指摘している。また、王（2018）の研究では、中国人大学生の就業動機に関して家庭内要因等が指摘されているものの、これまでは労働価値観、両親の養育態度に関連する研究は僅少である。本研究では、以下の2点を検討することを目的とする。1) 中国人大学生の就業動機、労働価値観、両親の養育態度はどのようなものか。2) 中国人大学生の就業動機に、大学生自身の労働価値観と両親の養育態度がどのような影響を及ぼすのか。

【方法】 調査対象者：中国の大学19校の中国人大学生を対象に2023年6月上旬～7月上旬までWeb調査を実施した。有効回答数は325部（男性159名、女性158名、不明8名、平均年齢 $M=21.89$ 、 $SD=1.705$ ）となった。調査内容：①就業動機尺度（安達，1998）：38項目、5件法。②労働価値観尺度（江口・戸梶，2009）：38項目、6件法。③PBI（Parental Bonding Instrument）日本版（小川，1991）：28項目、6件法。これらを日本語で作成し、その後バックトランスレーションを用い、中国語版を作成した。フェイスシート：性別、年齢、学年、大学の場所、専門分野等。

【結果・考察】 因子分析の結果、中国人大学生特有の就業動機、労働価値観、両親の養育態度が明確に示された。就業動機では、『生活基盤志向』（ $M=3.900$ ）、『探索志向』（ $M=3.796$ ）の2因子の平均値が比較的高く、中国人大学生は就職する際に物質的な欲求を優先的に考えることが確認された。労働価値観について、『自己成長』（ $M=4.942$ ）、『経済的報酬』（ $M=4.912$ ）の2因子の平均値が高く、職場で技術向上や新しいことを学ぶことにより自分の能力を伸ばすこと、多くの収入を得るために給料や福利厚生を重視することが明らかになった。父親の養育態度について、『情愛』（ $M=2.833$ ）、『決定尊重』（ $M=2.888$ ）の2因子の平均値が高く、子どもの決定を尊重し、自由で優しい父親像が表された。母親の養育態度について、『自主性の尊重』（ $M=3.393$ ）の因子の平均値が高く、子どもの自主性を尊重し自由であたたかい母親像が示された。重回帰分析の結果、中国人大学生の就業動機に労働価値観、両親の養育態度がどのように影響を与えているか検討したが、労働価値観に注目すると、就業動機の『生活基盤志向』、『探索志向』、『対人志向』に影響を及ぼしていたのは、『自己成長』と『経済的報酬』の労働価値観であり、これらが大きいことが特徴である。一方、『起業志向』や『親の期待志向』に影響を及ぼす労働価値観は『社会的評価』、『達成感』、『社会への貢献』である。このように就業動機によって影響を及ぼす労働価値観が異なることが示されたことは意義深いことである。また、両親の養育態度について注目すると、多くの就業動機に父親の『依存期待』、『自己中心的な母親』の影響も示唆された。このことは背景に中国現代社会の経済重視の価値観と親の子どもへの過干渉や放任主義が反映されていると推察される。